

## 2006年度 日本液晶学会第5回理事会議事録

日時：2006年11月18日（土）午後2時～6時

会場：大仙家 会議室（静岡県伊豆の国市）

出席：竹添秀男（会長）、赤木和夫（副会長）、赤羽正志（副会長）

内藤裕義（総務）、氏家誠司（総務）、平岡一幸（財務）、坂本謙二（財務）、米谷 慎（編集）、高橋泰樹（行事）、  
能勢敏明（行事）、伊達宗和（情報）、森武 洋（情報）、西川道則（会員）、竹内清文（研究会）

井上恭子（事務局：PAC）

欠席：、山本 潤（編集）渡辺良一（会員）青木良夫（研究会）

### 議 案

#### 1) 承認事項

##### 1-1 会員入退会の承認

- ・2006年7月～2006年10月の入退会者数が会員委員会より報告され、承認された。

#### 2) 報告事項

##### 2-1 総務委員会（内藤理事，資料06-11-1）

（添付資料1：理事会議事録案の承認）

- ・第3回理事会議事録：（2p）10周年記念事業の表記で一部不適切な箇所を削除する。  
（3p）2007年度サマースクール校長 誤）倉橋先生 → 正）舟橋先生  
誤）広島先生 → 正）廣嶋先生
- ・第4回理事会議事録：新旧理事のご挨拶で、特に報告事項がないため議事録はなしとする。

（添付資料2：2006年度総会議事録案の承認）

- ・2006年度総会議事録は、事務局（PAC）にて修正後、再度、メール審議する  
（1p）（3）事業報告、会計報告  
（2p）「（5）学会賞の授与」を追記する

（2006年度評議会の報告）

- ・日本液晶学会の運営活動は各評議委員に認められている。

（添付資料3：学会賞規定について）

- ・「日本液晶学会賞受賞対象、条件および受賞件数 注1」  
改前）「過去における受賞者は、同一種類の賞について受賞年度を含め5年以内に再受賞できない」において  
改定）「過去における受賞者は、同一種類の賞（論文賞に限ってはA部門、B部門をそれぞれ同一種類の賞とみなす）について受賞年度を含め3年以内に再受賞できない」
- ・共著者の場合の再受賞は可能か
- ・【今後の課題】選定対象論文の制限の規定をどこまで設けるか  
現在、選定対象論文の母体数を広げるため、選定時に会員でなくても、受賞時に会員となることを条件に受賞対象者としている。「日本人」という規定はないため外国人も対象可能となるのか。範囲が広すぎると賞の意義が曖昧になってくる。今後、選定対象者の規定の明記が必要になってくる。

（審議事項・次年度検討事項）

- ・学会賞の選定プロセス再考 → 選定時期を早め、母集団を広げるための選定方法を再考する。
- ・公共会員 → 講演会、討論会に会員価格で参加での参加を今後も認めるのか。例）特許庁
- ・年会スケジュール作業（添付資料6）の確認  
→ 修正・追加を各理事から次回の理事会までに事務局（PAC：井上）に連絡
- ・2007年度事務局業務 → ㈱プロアクティブ（PAC）と引続き契約：契約書、覚書の作成
- ・10周年の記念に学会のロゴマーク作成を検討する

##### 2-2 総務委員会（平岡理事，資料06-11-2）

###### 2-2-1 承認事項

- （1）サマースクール準備金の新設：来年度から実行委員会へ準備金50万円を事前に渡す。

(2) PAC 管理みずほ銀行口座(会長名義)をインターネットバンキング化する。学会経費関係の入出金が多く、会員への対応等で、日々の入出金管理が必要なため。

(3) 事務局 (PAC) から財務理事への会費月次清算報告書が滞りがちなので徹底する。

#### 2-2-2 継続検討事項

(1) 学会口座の管理：学会として貸金庫を借りる (費用=3万~4万円/年)

現在、定期預金口座の通帳は竹添会長にて、届出印は事務局：PACにて預かっている。年会費入金口座は財務理事(平岡先生)にて預かっている。個人が責任を持てる金額ではないので、リスク回避の対応が必要。

→ 貸金庫は誰が管理するのか。どこに貸金庫は作ればよいのか。

事務局 PACにて検討：会社として請負可能かどうかを確認する

### 2-3 編集委員会(米谷理事, 資料06-11-3)

(10周年記念出版：編集委員会の構成・委嘱)

山本先生が京大に移り、多忙のため、10周年記念出版編集委員長をはじめ委員構成を確定する。

・編集委員長：赤羽先生(2007年度学会長)

・副委員長：木村先生(長岡技術大学)と山口先生(秋田大学)にお願いする。(米谷先生より打診・お願いする)

・編集委員長と副委員長は、著者や内容の確認をお願いし、実務の補佐(印刷会社とのやり取り等)は、米谷先生(編集委員会)で行う。

(「液晶」の10周年特集号)

・7月号を10周年記念特集号とする計画 → 原稿の締め切りが5月

・特集記事案として

1) 液晶関係者による座談会

2) 今までの記事とは違う観点の記事、例えば、液晶技術史・産業史、液晶業界ジャーナリスト記事

3) 液晶の科学・技術の総括(この10年とこらから等)記事

のどれがよいか。

2)の案はNGと、編集委員会で判断。

決定) = 3)の案?

・液晶学会で10年間研究してきたグループ10年間の研究をまとめてもらう(坂本先生)

・論文レビューではなく、フォーラムの10年の活動を総括する。(米谷先生)

・フォーラム委員と編集委員と一緒に会議をして具体的案を検討する(竹内先生)

・各フォーラム毎に4~5件のテーマを決めていただいて、各テーマ、2~3ページで書いて頂く

(竹添先生)

・10周年記念出版事業委員会の会議を行ってよい。(交通費等は学会より支払)

→ 12月22日の主査会にて具体的な方向性を検討する。

(バックナンバー在庫整理の確認)

・昨年、古いバックナンバーの在庫は50冊、印刷部数は、1500冊に整理した

→ 決定事項) 在庫状況からみて、来年より印刷部数=1300冊にする(事務局PACから壮光社へ連絡)

### 2-4 情報委員会(伊達理事, 資料06-11-4)

1. 会員名簿公開の件

・Webでの会員名簿公開を継続する → 一斉配信メールで、全会員に公開の意思を確認する。(情報理事)

・情報流出を防ぐため、パスワードは、毎年更新する。(古いパスワードは、使用不可にする)

2. NII電子図書館での学会誌液晶公開時の価格について

・NIIの価格は資料の通りで承認。

3. 学会誌電子データの取り扱いについて

・CDと冊子は一体販売(予約販売)とする

・予約の受付・発送作業 → シグマ出版 or 事務局:PAC

・ビットマップ、スキャン、データ化の方法=予算で赤字にならないように検討する。

・販売価格は、本の価格が決まってから検討する ← バックナンバー(=¥4,200円)も考慮して決める。

### 2-5 行事委員会(能勢理事, 資料06-11-5)

(2006年液晶学会講演会・討論会の報告)

- ・講演会参加者は110名
- ・完全CD-ROM化 → 特に問題なし。クレーム等も起こらなかった。  
(当日の印刷も216枚で、予想より少なかった)  
→ 今後、完全CD-ROM化を進めていく。

(2007年液晶講演会・討論会：竹添先生【石川先生の代理報告】)

- ・現状報告と、検討事項は、引き続き来年の理事会で検討する。

(2007年サマースクール：高橋先生)

校長は舟橋先生にお願いする。  
場所は例年同様、熱海で行う予定。

## 2-6 会員委員会 (西川理事, 資料06-11-6)

- ・入退会者の報告
- ・FPDインターナショナル：ブース設置の報告
- ・住所不明会員リスト → 電話、メール等で連絡がとれる方には、PAC事務局にて対応する。

(年会費未入金者への再請求：PAC事務局)

- ・督促：再請求願い：12月4日時点で未入金者  
コンビニ支払：請求書を送付(12月第3週) → 2007年1月10日支払締切  
クレジット払：メールにて支払願い(12月第3週)

■次回理事会：2007年1月 → 石川先生に要確認

<配布資料>

- 資料2006-11-1：2006年度第3回日本液晶学会理事会資料(総務委員会)
- 資料2006-11-2：2006年度第3回日本液晶学会理事会資料(財務委員会)
- 資料2006-11-3：2006年度第3回日本液晶学会理事会資料(編集委員会)
- 資料2006-11-4：2006年度第3回日本液晶学会理事会資料(情報委員会)
- 資料2006-11-5：2006年度第3回日本液晶学会理事会資料(行事委員会)
- 資料2006-11-6：2006年度第3回日本液晶学会理事会資料(会員委員会)
- 資料2006-11-7：2006年度第3回日本液晶学会理事会資料(研究委員会)

以上